

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 10 月 4 日 (2007.10.4)

【公表番号】特表 2007-504419 (P2007-504419A)

【公表日】平成 19 年 3 月 1 日 (2007.3.1)

【年通号数】公開・登録公報 2007-008

【出願番号】特願 2006-526172 (P2006-526172)

【国際特許分類】

F 1 6 J 3/04 (2006.01)

F 1 6 J 15/52 (2006.01)

F 1 6 D 3/84 (2006.01)

【F I】

F 1 6 J 3/04 A

F 1 6 J 15/52 C

F 1 6 D 3/84 W

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 8 月 7 日 (2007.8.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の端部と、

第 2 の端部と、

前記第 1 の端部及び第 2 の端部間に延び、かつ各々が異なる材料を含むグリースに対して耐性のある内層とオゾンに対して耐性のある外層とを備えるブーツシール壁と、
から成るブーツシールであって、

前記ブーツシール内層は、前記第 1 と第 2 の両端部に露出された端部領域を有し、前記外層は前記端部領域が外部環境に露出されないよう、前記内層の周囲にあることを特徴とするブラシツール。

【請求項 2】

前記内層は水素化ニトリルゴムを含み、前記外層はエチレンプロピレンジエンゴムを含んでいることを特徴とする請求項 1 に記載のブーツシール。

【請求項 3】

前記外層及び内層がエラストマーで作られていることを特徴とする請求項 1 に記載のブーツシール。

【請求項 4】

前記エラストマーが、ゴム及び熱可塑性エラストマーを含むことを特徴とする請求項 3 に記載のブーツシール。

【請求項 5】

前記外層及び内層が互いにボンディングされていることを特徴とする請求項 1 に記載のブーツシール。

【請求項 6】

前記外層及び内層が互いに接着されていることを特徴とする請求項 1 に記載のブーツシール。

【請求項 7】

前記内層及び外層間のボンディング領域にかみ合った従順層をさらに有することを特徴とする請求項 1 に記載のブーツシール。

【請求項 8】

前記内層と前記外層のそれぞれの層は大略均一な厚みを有することを特徴とする請求項 1 に記載のブーツシール。

【請求項 9】

前記内層と前記外層の少なくとも 1 つはブーツシールの長さに添って厚さが変化していることを特徴とする請求項 1 に記載のブーツシール。

【請求項 10】

第 1 のジョイント部品に接続される第 1 の端部と、

第 2 のジョイント部品に接続される第 2 の端部と、

前記第 1 の端部及び第 2 の端部間に延び、かつ各々が異なる材料を含グリースに対して耐性のある内層とオゾンに対して耐性のある外層とを備えるブーツシール壁と、
から成るジョイントをシールするためのブーツシールであって、

前記ブーツシール内層は、前記第 1 と第 2 の両端部に露出された端部領域を有し、前記外層は前記端部領域が外部環境に露出されないよう、前記内層の周囲にあることを特徴とするジョイントをシールするためのブーツシール。

【請求項 11】

前記内層が水素化ニトリルゴムを含み、前記外層がエチレンプロピレンジエンゴムを含むことを特徴とする請求項 10 に記載のブーツシール。

【請求項 12】

前記外層及び内層がエラストマーで作られていることを特徴とする請求項 10 に記載のブーツシール。

【請求項 13】

前記エラストマーが、ゴム、熱可塑性エラストマーを含むことを特徴とする請求項 12 に記載のブーツシール。

【請求項 14】

前記外層及び内層が互いにボンディングされていることを特徴とする請求項 10 に記載のブーツシール。

【請求項 15】

前記外層及び内層が互いに接着されていることを特徴とする請求項 10 に記載のブーツシール。

【請求項 16】

前記内層及び外層間のボンディング領域に、かみ合った従順層をさらに有することを特徴とする請求項 10 に記載のブーツシール。